

令和5年度第4回下野市社会教育委員会議 議事録

審議会等名 令和5年度第4回下野市社会教育委員会議
日 時 令和6年2月15日(木) 午前10時00分から12時00分まで
会 場 下野市役所2階 203会議室
出席者 五月女洪委員長、花澤公久副委員長、秋山貴子委員、石田節男委員、青木ムツミ委員、大塩宗里委員、水田あけみ委員、ジヴニーかおり委員、菅井貞雄委員、小島恒夫委員、石川知子委員、増淵晴美委員
【欠席委員】 小林勉委員
事務局 生涯学習文化課 根本宣明課長、橋本幸昌主幹、大塚隆邦主査、山中裕貴主査
公開・非公開の別 (公開 一部公開 非公開)
傍聴人 なし
報道機関 なし
議事録(概要)作成年月日 令和6年2月20日(火)

【協議事項等】

1. 開会〈根本課長〉
2. 委員長あいさつ

(五月女委員長) おはようございます。先日の12日は、しもつかれを食べる風習のある初午だった。この風習は、若い人にはなじみが薄いですが、本県だけではなく、埼玉県久喜や加須あたりでも「すみつかれ」などと呼ばれ、食べられているようだ。また、この時期、各公民館にて公民館まつりが盛んに開催されている。本日は、教育委員会への提言に関する最後の会議となるので、審議のほどよろしくお願ひしたい。

(根本課長) 五月女委員長ありがとうございました。これより議事の進行は、社会教育委員会議規則第3条第1項に基づき、五月女委員長にお願ひする。

3. 議題

(1) 教育委員会への提言について

(五月女委員長) 事務局より説明を求める。

(事務局) 資料1「教育委員会への提言書(案)」に基づき説明。

(五月女委員長) 事務局からの説明の中で、委員からの事前意見に対する回答があったが、各委員から補足や追加したい意見等あるか。

(水田委員) 提言に記載しなくてもよいが、これからの施設の環境整備について市民から要望がある旨知っていただきたい。つまり、古い建物である図書館のトイレがお粗末であること。公民館や図書館に若者や子ども連れを呼び込みたいのであれば、トイレの便座が冷たいことや、小さい子ども用の手洗い場やトイレがないことは改善していただきたい。

(事務局) 施設の改修工事の計画を策定する際に検討してまいりたい。今回の提言には記載しない旨了承いただきたい。

- (石田委員) 石川委員から公民館ロビーに限定する必要ないと意見あったが、資料2「生涯学習文化課主要事業実績報告」に掲載されているが、昨年12月に石橋公民館ロビーで実施されたイベントを念頭に置いて記載されているので、具体的な取組例として、「ロビー」という表現は残してよいのではないか。
- (事務局) 石田委員の指摘のとおり、12月19日に石橋公民館でNPOや大学生の協力のもと、イベントを開催したことを踏まえたもの。
- (石田委員) 提言書5頁の6行目、11行目、15行目について、「考えられます」となっているが、これらの項目は、石橋、南河内、国分寺公民館ですでに実践している内容が含まれていると思う。特に、石橋公民館のロビーにあるグループ学習スペースでは、高校生の利用者が非常に多い。表現については、よりよい言い回しがあれば修正してもよい。
- (水田委員) 公民館は若者が入りづらいイメージがある。自由にロビーを利用できるということが周知されればよいのではないか。
- (菅井委員) 国分寺公民館を良く利用しているが、以前よりも空きスペースなどで作品展示するなど活用されている印象である。提言書中の「ロビー」は残してもよいのではないか。
- (花澤副委員長) 各委員から公民館の比較の話があった。中高生、大学生の行動範囲は、交通の利便性による影響もあるのではないか。石橋公民館は駅から歩いていけるし、高校も近い。
- (五月女委員長) 高齢者も公民館を利用しなくなっているのではないか。車が乗れなくなっていることが一因だと思う。自転車の事故も心配である。
- (大塩委員) 提言5頁16行目、ロビーについては「等」を追加してはどうか。また、5頁の提言項目に「利用しやすく魅力的な施設を目指して」とあるが、何か足りないように感じる。具体的なものがないからではないか。親族が南河内図書館で本を借りた際に、職員の対応がとても良く、気持ちよく利用できたそうだ。提言書に盛り込むべきかどうか判断しかねるが、接遇や来館者への対応について記載してはどうか。
- (五月女委員長) 人との関係性は重要な観点である。学校については敷居が高いと言われるが、人々とのコミュニケーションを密にすることで低くできると思う。
- (小島委員) 接遇に関しては、南河内図書館でビブリオバトルの開催を提案したが冷遇されたという逆の経験をした。ビブリオバトルは図書館以外でもできる。本好きの友達が増えると良いという想いがある。また、社会教育委員会議は、公民館長や生涯学習情報センター所長も出席するべき。
- (青木委員) ビブリオバトルについては、南河内第二中学校で実施している。図書館協議会においても、ビブリオバトルやブックトークなどの読書推進の取り組みを行うよう要望が出ているので、これから実施に向けて検討を進めると思う。国分寺図書館では、小学生が集まって本の紹介をする取組を実施している。読書推進人材育成の効果もあるようだ。
- (石川委員) 公民館まつりが開催されており、良い雰囲気である。講座を作っておしまいというこ

とではなく、市民の声を汲み取れるような指導員の育成をお願いしたい。

- (石田委員) 小島委員から本会議への公民館長等の出席を求める意見があったが、提言書に書かれていることは、公民館や図書館ではきちんと実施している。例えば、スマートフォン講座は満員で好評である。今回の提言に関してはそのままで良いが、若者と高齢者の交流につながった先進的な取組例として、南河内公民館で実施したeスポーツなどがある。
- (小島委員) 生涯学習情報センターは、今回の提言書の対象施設にはなっていないが、センターの仕事ぶりが見えない。生涯学習文化課の所管施設であるので、本会議での検討対象の施設とすべきではないか。
- (事務局) 生涯学習情報センターのあり方の見直しについては、会議での委員からの指摘を踏まえ、提言書7頁の今後の課題として整理させていただいた。
- (五月女委員長) 今期の社会教育委員会会議では、公民館と図書館に関して委員から意見をいただいたが、体育・スポーツも重要な位置を占めている。本市の場合は社会教育委員会会議で議論していないが、解決しなければならない課題だと思う。
- (花澤副委員長) 3年前も議論された。本来、社会教育委員会会議において包含すべきと思う。
- (事務局) 課や審議会等が別にあることもあって今の体制となっている。今回の提言とは別に、今後の検討課題としていきたい。
- (秋山委員) 子どもたちの読書の推進に関して、本校でも学校では読書をしているが、家庭では読んでいないという課題がある。学校運営協議会での話し合いの中で、おうちの方が読んでいないためではないかとの分析もあったが、解決は難しい。学校では、図書委員会による本の紹介をするなど、それぞれで読書活動の充実を図っている。図書館からの支援や、生涯学習情報センターについては、そろばんや昔遊びの講師派遣などボランティアバンクを活用しており、今後もつながっていきたい。
- (大塩委員) 私が学校運営協議会委員を務めている石橋北小学校においても読書に関して同じ課題がある。改めて家庭教育の重要性を認識した。
- (小島委員) 不読率の悪化は、大人が悪い。
- (五月女委員長) 自分の身長分だけ読書をしなさいと言われた経験がある。活字離れはスマホが一因ではないかと思う。
- (水田委員) 現在の家庭教育学級は、親子でものづくりなどがあるが、本来あるべき形で開催されているか疑問である。つまり、親子で一緒に過ごす時間としては良いが、虐待防止や親の孤立解消などの問題解決につながっているか、親の学びにつながっているか再度考える必要があるのではないかと。学びの効果を持続させるためには、継続して親に家庭教育の重要性を伝えていくことが大切である。
- (増渕委員) 地域コミュニティの観点からは、コロナにより自治会活動も停滞し、顔を見る機会が減っている。コミュニティセンターのロビーを活用して、親子連れが楽しめるスペースを検討していきたいと考えている。できることを実践していきたい。今回の提言が

良いきっかけになればうれしい。

- (五月女委員長) 地域とのつながり薄くなっている。具体的にどうすれば地域とのつながりをつくり直すことができるのか。本市は災害が少ないと言われるが、いざ災害が発生した際に果たして助け合えるのか。自治会関係者と語っていかなければならないのではないかと。
- (花澤副委員長) ある自治会長と話をしたが、自治会ごとに抱える状況や課題が多様であることを実感した。
- (大塩委員) 自治会運営は切実な悩みである。役員になりたくない、行事に参加したくない、自治会に加入しなくても暮らしていけるなどの理由で自治会に加入しない世帯が増えていると感じる。
- (小島委員) ラジオ体操活動を主宰しており、参加者と毎日顔を合わせている。毎日顔を合わせる環境が活動の広がりにつながっている。健康をキーワードに人を集めることは効果的ではないか。
- (石川委員) 生涯学習情報誌エールについて、公共施設等での配布から自治会配送による全戸配布に戻った経緯を説明願いたい。
- (事務局) 前回の社会教育委員会議の意見を受け、庁内で再検討した結果、自治会配送に戻すこととなった。公民館運営審議会でもエールの周知方法に関して同様の意見をいただいた。ただし、自治会の負担が大きいと聞いているため、情報量は極力維持したまま、ページ数は減らす予定。現在、校正作業を行っている。配布は、例年どおり3月15日を予定している。事前に情報を伝えることの重要性を再認識したところである。
- (石川委員) 社会環境の変化に合わせて変えること自体は悪いことではない。エールについても、スマホに抵抗がなくなる世代が増えれば形を変えてもよいかもかもしれない。一足飛びに決定を伝えるのではなく、事前に市民の意見を汲み取ることも必要と考える。
- (菅井委員) 高齢者が学んだり交流したりできる場所の確保が必要と考える。
- (ジヴニー委員) 中学生への学習支援事業を行っている。保護者に余裕がなくなっている。コロナ禍を経験し、対面の煩わしさを避け、対面で会話しない親が増えたように感じる。人と人とのコミュニケーションが楽しいと思っていない人もいるが、近所のおせっかい役として、一緒に楽しむことの大切さ、今しかできないことの尊さを伝えていきたい。しもつかれづくりなどの家ではなかなかできないことを体験させた。家庭だけでなく、保育園や学校、地域を含めた社会全体で支えることも大切である。
- (五月女委員長) ぜひ頑張ってください。煩わしさを感じる人も増えているという課題もあるが、人とのつながりは面と向かった対話はやはり大切である。日本の高齢者は活動的であるので、高齢者をどう活かすかが大切である。それでは、本日の委員の意見等を踏まえたうえで、提言書を教育長へ提出したい。以上で議事は全て終了した。進行を事務局へお返しする。

4. その他

- (根本課長) 次第「その他」について、事務局より説明願う。

- (事務局) 資料2「生涯学習文化課主要事業実績報告」に基づき説明。
- (石田委員) グリムの館・グリムの森管理事業については、今年で第23回を数えるグリムの絵画展やグリム童話賞も長年実施しているので掲載いただきたい。
- (根本課長) 歴史ある絵画展、童話賞とのことで、今後は掲載したい。引き続き、事務局から説明願う。
- (事務局) 今回審議いただいた提言書については、事務局で最終版を作成し、各委員あて郵送で送付する。3月中に教育長へ提言書を提出し、教育委員会へ報告する。教育長への提出については、五月女委員長と日程調整し執り行う。
- 各委員におかれては、今年度末で社会教育委員の任期は満了となる。任期中は大変お世話になった。公募委員で委員の継続を希望する方におかれては、応募用紙があるので提出願う。学識経験者におかれては、継続依頼する際は何卒よろしくお願いしたい。
- 第14回子どもなんでも発表会について、3月24日(日)天平の桜歌会と同日、国分寺聖武館にて小学生作品展示を行う。

5. 閉会〈根本課長〉